

# 那須塩原市 塩原地区 バリアフリーマップ

資料提供先

本マップの作成は、2021年2月24日現在の情報を基に作成し発行しておりますが、発行後の工事等によって変更が生じ、実際と異なる場合がございます。従って、本マップで掲載された内容、情報に起因する損害等については、那須塩原市は責任を負いませんので、予めご了承ください。

作成 塩原観光局  
スロープ協賛  
協力 塩原小中学校 5・6年生  
0287-37-5439

## 1 広域図 宿泊体験館メープル〜塩原温泉ビジターセンター

**地図凡例**

トイレ	身障者用駐車場
車いす対応トイレ	バス停(ゆーバス)
オストメイト対応	AED
乳幼児用設備	指定避難所
スロープ	音声信号
	思いやりポイント

## 2 塩原温泉ビジターセンター 周辺図

この地図は、那須塩原市街の縮尺で、縦横約1/2,500程度、1/10,000地形図を参照し作成したもので、(縮尺等) 4角2階建地積約4.5m

## 施設案内

### ①箱の森プレイパーク

- 9:00 ~ 17:00
- 0287-32-3018
- 7/20 ~ 8/31 を除く
- 毎週水曜日 (祝日の場合は翌平日)
- 年末年始: 12/29 ~ 1/3

パークには楽しい遊具や仕掛けがいっぱい。みんなで楽しく遊んじゃおう!! おもしろ自転車やアスレチック、パーペキュアの後は日帰り温泉でゆっくりと。広々とした自然の中でダイナミックに遊べるスポットです。

### ②塩原もの語り館

- (塩原温泉観光協会)
- 8:30 ~ 17:00
- 0287-32-4000
- 年中無休

塩原の歴史や文化などを資料や映像で紹介する展示室のほか、観光情報コーナー、野原遊歩道やレストラン、無料の足湯もある観光拠点です。塩原においでの際は是非立ち寄り頂くと観光情報もゲットしてください。

### ③塩原温泉湯つ歩の里

- 9:00 ~ 18:00
- \*12/1 ~ 3/31 は ~ 17:00
- 0287-32-3101
- 大人(高校生以上) ~ 200円
- 小・中学生 ~ 100円
- 毎週水曜日 (祝日の場合は翌平日)

塩原温泉の湧量の豊かさを象徴する巨湯溜の足湯施設は国内最大級の60メートルの長さを持ちます。湯内には四季折々の草木が彩ります。文字湯、数寄屋などが数多くあります。

### ④塩原温泉ビジターセンター

- 9:00 ~ 16:30
- 0287-32-3050
- 毎週水曜日 (祝日の場合は翌平日)
- 12/29 ~ 1/3

塩原温泉の自然をわかりやすく展示しています。遊歩道の案内や動画の情報などお気軽にお立ち寄りください。年間を通して、観覧会やハイキング、スノーシューなどのイベントを開催しています。

### 3 市立塩原小中学校 周辺図



### 4 塩原もの語り館 周辺図



### 那須塩原市塩原地区バリアフリーマップができるまで ～心のバリアフリーを身につけよう！～

#### 障がい当事者との交流

まずはバリアフリーについての概念を学ぶ。障がい当事者や高齢者、小でなわいさんがいる方がまちを歩く際、歩道に障害物があると足指ブロックがふさがれてしまう。道の段差で歩きづらくなるなど、危険と思われる場所を出発前に確認しました。まち歩き点検に同行していただく障がい当事者の方々は、外出したときほどどういった困りごとがあるのかを体験を交えて語り、多様性のある社会でお互いが困りやりに合わせて暮らしていきたい」といったお話を聞くことができました。



障がい当事者の体験談を聞く

#### まち歩き点検

その後、障がい当事者と児童たちでマップを詰め、3期に分かれて点検を実施。実際に歩いてみると、目線よく通っている音や視覚で、多くのバリアフリーの工夫や改善点を見つけられました。例えば、道路の排水をうらうグレーチングと呼ばれる発泡の蓋を見てみると、溝の大きさが異なるものがありました。目の粗いグレーチングでは、視覚障がい者の命のよりどころともいえる白杖が保ちる危険性があ



視覚障がい者を介助する体験

スムーズに歩くことができました。多目的トイレは、一目でトイレとわかるアイコン（イラスト）で示されており、外国の方でも直感的に理解できます。トイレ内部も広く、車いすでも十分に動くスペースを確保することが可能です。中には、赤ちゃんのおむつ替えができるベビーベッド等を備えているものもあり、多くの人にとって使いやすい設備となっています。また、阪上へ向かうエレベーターには、車いす利用者の目線の高さにも押しボタンが設置してありました。低い位置に押しボタンがあることで、「高いところに手が届きにくい」という車いす利用者の困りごとを解消で



車いすの方が自動車に乗る様子

#### まち歩き点検での「気づき」を発表

戻ってきた児童たちは、障がい当事者の方々に「通りづらかった場所はありませんか？」などと気づいた点を質問し、「ほかからとらえて」「（こうしてほいとか）を付箋に書いて返答に貼り付けました。付箋を貼り終えたら、児童一人一人が気づきを発表。「エレベーター内に傾きがあるのは、後ろを確認して、降りる際に人とぶつからないのだということもわかった」など、障がい当事者と共に活動して得た貴重な体験を積極的に共有し、バリアフリーを深く知る良い機会となりました。



「気づき」の付箋を掲示する  
参加した児童たちの感想  
-目の不自由な方も介助しましたが、思ったよりも楽しかったです。でも、少額です。もう少し多額でも、車いすを利用している方にとっては長く使いたいという方があり、とても感謝になりました。